

令和3年度 予算要求状況について

予算要求額

1. 要求総額（一般会計＋特別会計）

歳入	386億3,329万円	- 4.1%（前年度当初予算比）
歳出	413億8,755万円	+ 2.7%（前年度当初予算比）
財源不足額	27億5,426万円	+ 16億3,114万円（前年度当初要求時比）

令和3年度予算の要求は、前年度に引き続き、各部等に一般財源を配分し、範囲内で要求する枠配分方式としました。予算要求段階での収支ギャップは、27億5,426万円（前年度当初要求時収支ギャップは11億2,379万円）です。

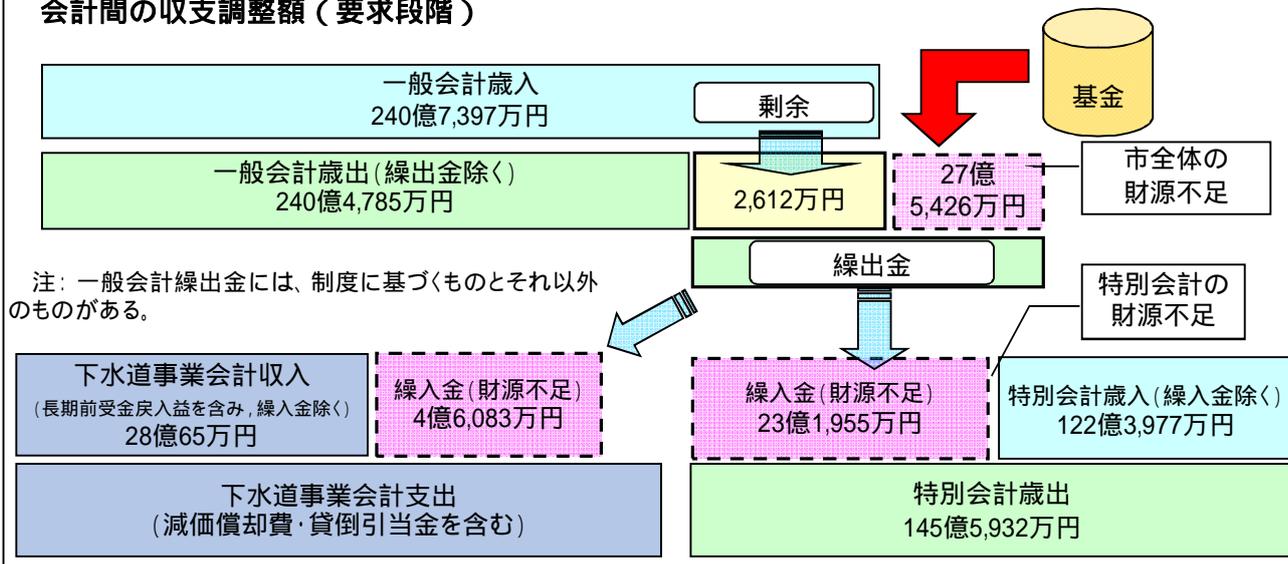
基幹収入である市税は、新型コロナウイルス感染症による経済低迷や法人税税制改正の影響の通年化を勘案し、個人・法人住民税ともに減収を見込んでいます。また、3年に1度の評価替えに伴う固定資産税（土地・家屋）の減収を合わせると、要求段階では市税全体で4%程度の減収を見込んでいます。加えて地方消費税交付金や国の財源不足に伴う地方交付税の低迷を勘案し、歳入予算全体では、386億3,329万円と前年度当初予算より16億5,921万円（- 4.1%）の減額要求となりました。歳出では、新学校給食センターや新長戸コミュニティセンターの整備費のほか、少子高齢化に伴う社会保障関係経費などの増により総額413億8,755万円と、前年度当初予算より10億9,505万円（+ 2.7%）の増額要求となりました。

2. 会計別要求状況

（単位：千円）

会計名	令和3年度要求額		令和2年度当初予算額	対前年度当初予算比		同増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	24,073,970	26,828,232	25,610,000	1,536,030	1,218,232	6.0	4.8
国民健康保険事業特別会計	6,819,158	6,819,158	7,244,000	424,842	424,842	5.9	5.9
介護保険事業特別会計	5,556,712	5,556,712	5,196,000	360,712	360,712	6.9	6.9
障がい児支援サービス事業特別会計	69,054	69,054	52,300	16,754	16,754	32.0	32.0
後期高齢者医療事業特別会計	1,682,565	1,682,565	1,527,000	155,565	155,565	10.2	10.2
介護サービス事業特別会計	12,300	12,300	11,400	900	900	7.9	7.9
工業団地拡張事業特別会計	419,533	419,533	651,800	232,267	232,267	35.6	35.6
特別会計合計	14,559,322	14,559,322	14,682,500	123,178	123,178	0.8	0.8
総計	38,633,292	41,387,554	40,292,500	1,659,208	1,095,054	4.1	2.7
下水道事業会計	収入予定額	3,261,482	3,375,813	114,331		3.4	
	支出予定額		3,857,942	3,829,739	28,203		0.7

会計間の収支調整額（要求段階）



会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)		下水道事業会計(繰入前)	
歳入	240億7,397万円	- 3.4%	122億3,977万円	- 3.7%	18億3,572万円	- 2.7%
歳出	240億4,785万円	+ 2.9%	145億5,932万円	- 2.9%	22億9,655万円	- 1.8%
財源不足額	+ 2,612万円		23億1,955万円		4億6,083万円	

注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、一般会計・特別会計は前年度当初要求時比、下水道事業会計は前年度当初予算比。

注:下水道事業会計は収入・支出からそれぞれ長期前受金戻入益と減価償却費・貸倒引当金を除いた額。

2. 特別会計等繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和3年度 要求額	令和2年度 当初予算額	対前年度 当初予算比	同増減率 (%)
国民健康保険事業特別会計	524,884	535,721	10,837	2.0
介護保険事業特別会計	902,679	850,688	51,991	6.1
障がい児支援サービス事業特別会計	55,586	34,845	20,741	59.5
後期高齢者医療事業特別会計	836,101	793,586	42,515	5.4
介護サービス事業特別会計	298	808	510	63.1
工業団地拡張事業特別会計	0	0		
特別会計 合計	2,319,548	2,215,648	103,900	4.7
下水道事業会計	460,828	452,507	8,321	1.8

今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額27億5,426万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、令和3年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、平成29年度から計画期間となっている、当市の最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実効性を担保します。

【第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける5つの戦略】

- 戦略1 若い世代の希望の実現「若者・子育て世代の定住環境の創出」
- 戦略2 教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
- 戦略3 地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
- 戦略4 地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
- 戦略5 持続可能な行財政運営「将来につながる基盤づくり」

